

この度は、GTB・ブラシレスモーターシステムをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
この日本語説明書と英文マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。
GTBアンプはブラシレス・モーター(専用ESCプロファイルの1から5番)とブラシ付モーター(専用ESCプロファイルの6番)の両方が使用できます。

RCモーターの常識を覆すノバックブラシレスモーターがついに登場。ノバック最新技術満載の新モーターシステムは従来のDCブラシモーターに比べ発熱ロスがなく、回転効率、パワー共に最高のスペックをお楽しみ頂けます。モーターメンテナンス(ブラシの摩耗、コミュの研磨など)が不要で耐久性も抜群。新開発のセンサー回路により、これまで難しいとされてきたRCカーに対するトルクコントロールを可能にしました。専用ESCにより1~4または6のプロファイルが簡単にセットアップ可能です。(プロファイル5はボート用です。)

★ベロシティ5.5Rと6.5Rモーター ブラシレスモータースペック

モーター径 1.41インチ [35.8 mm]
モーター高 2.08インチ [52.8 mm]
モーター重量 6.40 オンス [181.4 gr]
モーター消費電力 196 W
モーター回転 5.5Rは超高速タイプ、6.5Rは高速タイプ
ネオジム製マグネット仕様
(1pc/multi-pole)
*モーターメンテナンス不要
*モーターセンサーはスムーズな回転とRCカーに適したトルクを実現しました。
*標準540モーターサイズ
*配線済みユニットは簡単に装着可能
*ボールベアリング採用で回転効率がアップ
*ハンダ直付け可能なコードタブ採用でコードの交換が簡単に行えます。
*信頼性の高いネオジム製一体ローターと固定されたワインディングは発熱時においても、従来のDCブラシモーターより高い回転効率を保ちます。

GTB ESC

4~6(4.8~7.2V)セル (1.2 V DC/セル)
1.16inch [29.5 mm]x1.49inch [37.8mm]
ESC 重量 (本体のみ) 1.36 オンス [38.5 g]
B.E.C. 電圧 6.0 V DC/3.0 A
パワーワイヤー 14Gシリコンワイヤー
モーター抵抗 (ブラシレス) 0.00040オーム 25度
モーター抵抗 (ブラシ付き) 0.00013オーム 25度
電流値 (ブラシレス) 540A 25度
電流値 (ブラシ付き) 1620A 25度
スロットル・プログラム (ブラシレス) 1~5
スロットル・プログラム (ブラシ付き) 6

6種類のスロットルプログラム

図1

	ブラシレス・ハイ		ブラシレス・スポーツマン		ブラシレス・ボート	ブラシ付モーター用
プロファイルNo.	1	2	3	4	5	6
最 小 作 動 値	3%	3%	2%	3%	3%	3%
最小ブレーキ値	20%	20%	20%	40%	20%	20%
プ ロ グ ラ ム	有	有	有	有	無	有
バックの有無	無	有	無	無	有	無
バ ッ ク %	0%	100%	0%	0%	25%	0%
ドラッグブレーキ	20%	20%	20%	40%	n/a	オフ

☆使用上の注意

- 1.モーターやアンプは水や水分をさらいます。また、基盤や外部に改造を加えないでください。故障の原因となります。
 - 2.ブラシレス・モードでは、ショッキングダイオードを使用しないでください。アンプが壊れます。
 - 3.ブラシレス・モーター (専用ESCプロファイルの1から5番) とブラシ付モーター (専用ESCプロファイルの6番) の両方が使用出来ますが、それぞれのモードによって配線が異なり設定が必要になりますので、使用前に必ずご確認ください。
 - 4.使用時以外は必ずバッテリーを外しておいてください。
 - 5.バッテリーは4-6CELLで使用してください。
 - 6.SS+アンプはセンサー付きノバック専用モーター用に開発された物です。225W以下のノバック専用540モーターのみ交換が可能です。
 - 7.極性を間違えない様に配線してください。逆接をするとアンプが壊れます。
 - 8.パワーキャパシタは純正の物を必ず取り付けてください。
 - 9.使用時には、必ず送信機側よりスイッチを入れ次にアンプを入れます。切る時は逆にアンプから先に切ります。
 - 10.ターミナル部等でのショートを防ぐ為、各配線は収縮チューブで絶縁してください。
- その他の注意：モーターの3つの4-40ネジでシャフトエンドが固定されています。数回の走行ごとに、これらのネジのゆるみをチェックし、締めこんでください。また、シンナー等でのケース洗浄によりケース表面を侵することがあります。

センサー制御式

- 1.駆動時のローター回転角をセンサーで管理することによりニュートラルからのスムーズな立ち上がりを実現しました。
 - 2.ローター回転角を管理することは、低速からの急激なアクセルレーション時においてもスムーズな加速をするのに大変重要で。
 - 3.ローター回転角管理システムは、加減速時に不安定な制御を無くし加速時の正確なトルクとブレーキを約束します。
 - 4.ローター角センサーとサーモセンサーは、モーターの中にあります。
- モーター (ローターを含む) やアンプに異常や発熱が起きた場合には送電を停止しユニットを守ります。

STEP.1

アンプの受信器ワイヤーが使用するレシーバーと同じ極性になっているかご確認ください。
もしも、異なっている場合は図1~3を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。

《図.2》



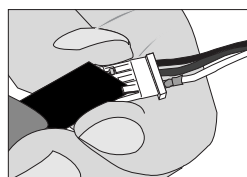
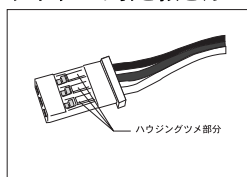
《図.3》



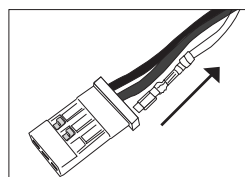
《図.4》

新型サーボワイヤーのコネクター・ピンの交換方法

ワイヤーの引き抜き方

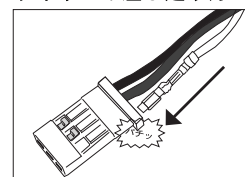


1.引き抜きたいワイヤーのハウジングのツメ部分をカッターの刃などを用いて持ち上げます。
(この時、ツメを折らないように注意してください。)



2.ツメ部分を持ち上げたままワイヤーを引き抜きます。

ワイヤーの差し込み方

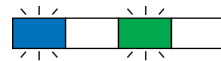


3.上図のようにコネクターをしっかり差し込みます。
(逆接はとても危険です。故障の原因となりますのでよくご確認ください。)

デッドバンド（ニュートラル幅）

GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- もし送信機をオフにして設定を行う場合は、GTBをレシーバーから取り外してください。
レース会場では、その他の送信機の電波障害を受ける可能性があるため、このシステムが有効です。
- GTBのスイッチをオンにします。
- GTBのボタンを押し続けるとブルーLEDが点灯し次にブルーとオレンジLEDが点灯し、そしてブルーとグリーンLEDが点灯します。
- ブルーとグリーンLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。するとブルーとグリーンLEDの点滅回数でデッドバンドの選択場所が確認できます。
- 素早く再度ボタンを押すことによりデッドバンド値（％）を変更することが出来ます。
また、連続して幾度か押すことでデッドバンド値（％）を連続変更することも出来ます。
ブルーとグリーンLEDの点滅の意味は1回が2%,2回が3%,3回が4%,4回が5%,5回が6%となっています。
何もしない状態ですと現在選択されているモードを数秒ごとにブルーとグリーンLEDの点滅回数で知らせます。
- 再度ボタンを一秒以上押し続けることで選択されたモードを確定します。
このとき、4色のLEDが順につきセット完了を知らせ、その後レッドと緑のLEDが点灯し送信機の指示が入っていない事を示します。

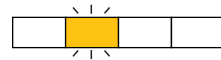


SS4/4

ミニマム・ドライブ（最小作動値）

GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- もし送信機をオフにして設定を行う場合は、GTBをレシーバーから取り外してください。
レース会場では、その他の送信機の電波障害を受ける可能性があるため、このシステムが有効です。
- GTBのスイッチをオンにします。
- GTBのボタンを押し続けるとブルーLEDが点灯し、次にブルーとオレンジLEDが点灯し、そしてブルーとグリーンLEDが点灯し、最後にオレンジLEDのみ点灯します。
- オレンジLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。
オレンジLEDの点滅回数でミニマム・ドライブの選択場所が確認できます。
- 素早く再度ボタンを押すことによりミニマム・ドライブ値（％）を変更することが出来ます。
また、連続して幾度か押すことでミニマム・ドライブ値（％）を連続変更することも出来ます。
ブルーとグリーンLEDの点滅の意味は1回が2%,2回が3%,3回が5%,4回が8%,5回が12%となっています。
何もしない状態ですと現在選択されているモードを数秒ごとにブルーとオレンジLEDの点滅回数で知らせます。
- 再度ボタンを一秒以上押し続けることで選択されたモードを確定します。
このとき、4色のLEDが順につきセット完了を知らせ、その後レッドと緑のLEDが点灯し送信機の指示が入っていない事を示します。

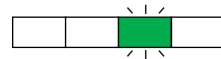


ドライブ・フレキャンシー（送電周波数値）

注意：ブラシ付きモーターのみ（ブラシ付きモーターモードの設定がされていないと作動しません。）

GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- もし送信機をオフにして設定を行う場合は、GTBをレシーバーから取り外してください。
レース会場では、その他の送信機の電波障害を受ける可能性があるため、このシステムが有効です。
- GTBのスイッチをオンにします。
- GTBのボタンを押し続けると、最後にグリーンLEDのみ点灯します。
- グリーンLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。グリーンLEDの点滅回数で送電周波数値の選択場所が確認できます。
- 素早く再度ボタンを押すことにより送電周波数値（％）を変更することが出来ます。
また、連続して幾度か押すことで送電周波数値（％）を連続変更することも出来ます。
グリーンLEDの点滅の意味は1回が1.5kHz,2回が2.5kHz,3回が3.5kHz,4回が4.5kHz,5回が6.5kHz,6回が8.5kHz,7回が11kHzとなっています。
何もしない状態ですと現在選択されているモードを数秒ごとにグリーンLEDの点滅回数で知らせます。
- 再度ボタンを一秒以上押し続けることで選択されたモードを確定します。
このとき、4色のLEDが順につきセット完了を知らせ、その後レッドと緑のLEDが点灯し送信機の指示が入っていない事を示します。



ローターロック感知装置

ローターに異常が生じた場合、GTBアンプは送電を停止します。

これらの状況とは、スタックやジャンプの後、または何かに激突したりした事によりタイヤの回転が一時的に妨げられた状態のことです。
この時、ブルーと緑のLEDが6回点滅します。モーターコントロールを回復させる前に、送信機のトリガーをニュートラルの位置に戻してください。

温度異常感知装置

GTBアンプとモーターのそれぞれには異常発熱からユニットを守る温度異常感知装置が内蔵されています。

いかなる理由においても、GTBアンプとモーターのいずれかが異常発熱した場合に送電を停止します。

この時、GTBアンプとモーターが正常な状態になるまでブルーLEDが点滅します。モーターコントロールを回復させる前に、送信機のトリガーをニュートラルの位置に戻してください。

26ゲージセンサーハーネス

テフロン製ワイヤーがモーターセンサーハーネスから出ています。コードをハウジングから外す場合は、ピンの背にあるメタルピンを内側に曲げ、ハウジングの先端にあるタブをカッターの先などで起こし、コードを引き抜きます。また、はめる場合はピンの背にあるメタルピンを起こしハウジングに押し込みます。

#モーターコードの延長に伴いセンサーコードを延長する場合、確実な接続と絶縁を行ってください。

モーターの手入れ

3つの4-40ネジをシャフトエンド固定用に使用しています。数回走行するごとに、このネジがゆるんでいないか確認し増し締めしてください。

ベアリング

軸受けにはベアリングが使用されています。モーターからの異常な音が発生し始めたら、交換をお奨め致します。（#5900 交換用ベアリング）

テクニカル・アドバイス

- 走行中にGTBの中低速域でオーバートルクを感じ走行し難い場合は、エキスポネンシャルを35%前後から上下させてください。

その他、スペアパーツ

#968 14Gシリコンワイヤー	¥580
#1562 114mm レシーバーワイヤー	¥680
#1563 228mm レシーバーワイヤー	¥780

☆その他、ご質問等がございましたらイーグル・サービスカウンター 0532-61-1554までお気軽にお問い合わせください。

☆修理サービスにつきましては、イーグル・サービスカウンターで行っていますのでお問い合わせください。

☆製品保証につきましては、一部アメリカ国内保証と異なりますが、ほぼノバック保証に準じて処理させていただきます。

保証依頼の場合はディーラステッカーが必要になりますので購入後必ずアンプの側面にはっておいてください。

☆ディーラステッカー↓

選択方法

◎送信機、アンプ、レシーバー、バッテリーを接続し、走らせられる状態で作業を行います。

- 1.送信機とGTBアンプのスイッチをオンにします。
- 2.GTBアンプのボタンを4つのLEDが点灯するまで押し続けます。
- 3.点灯を確認後GTBアンプのボタンを離します。LEDが点滅した数で、どのモードを選択しているかが確認できます。
- 4.モード変更をしたい場合は、LEDの点滅数を確認後素早く再度ボタンを押すことで次のモードにカウントアップしていきます。
- 5.選択したモードで確定の場合は3秒ほど放置することで赤のLEDの点灯に戻り選択が完了します。

◎送信機なしでモード選択を行う場合

- 1.GTBアンプのレシーバーワイヤーをレシーバーから抜き取り、GTBアンプのスイッチをオンにします。
グリーンとレッドのLEDのみが点滅します。（シグナルが無いことを表しています）
- 2.GTBアンプのボタンを4つのLEDが点灯するまで押し続けます。
- 3.点灯を確認後GTBアンプのボタンを離します。LEDが点滅した数で、どのモードを選択しているかが確認できます。
- 4.モード変更をしたい場合は、LEDの点滅数を確認後素早く再度ボタンを押すことで次のモードにカウントアップしていきます。
- 5.選択したモードで確定の場合は3秒ほど放置することで赤と緑のLEDの点灯に戻り選択が完了します。

★ブラシ付きモーターモードに設定を切り替えたい場合。

GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- 1.ブラシレスモーターの6本のセンサーワイヤーをGTBより取り外してください。
- 2.GTBからブラシレスモーターを取り外します。
- 3～4.GTBのボタンを押し続けGTBのスイッチをオンにします。
- 5～6.連続してボタンを押し続けブルーとレッドLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。
ブルーとレッドLEDが9回点滅し、数秒後に点灯します。
- 7.再度ボタンを素早く押すことでグリーンLEDが数秒間点滅し選択されたモードを確定します。
その時、ブルーとレッドのLEDが点灯しモード変換が終了した事を示します。
- 8.設定モードからニュートラルに戻ります。
- 9.ブラシ付きモーターをGTBに取り付けます。

★ブラシレスモードに設定を切り替えたい場合。

GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- 1.ブラシレスモーターの6本のセンサーワイヤーをGTBより取り外してください。
- 2.GTBからブラシ付きモーターを取り外します。
ブラシ付きモーターのマイナス側に付いていた3本の線を取り外し、ショートしない様に離しておいてください。
- 3～4.GTBのボタンを押し続けGTBのスイッチをオンにします。
- 5～6.連続してボタンを押し続けブルーとレッドLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。
ブルーとレッドLEDが9回点滅し、数秒後に点灯します。
- 7.再度ボタンを素早く押すことで、数秒間グリーンLEDが点滅し続けます。
- 8.もしも、スロットル位置にニュートラルがあればレッドLEDも点灯します。
（この時、センサーワイヤーとブラシレスモーターは外した状態で作業を行ってください。）
- 9.最後に極性に気を付けそれぞれの配線をセンサーワイヤーとブラシレスモーターへ接続します。

注意：ステップ5以降（ベシックスセットアップ以降は）、GTBはセットが完了し走行可能です。

この時点では、ファクトリーセットでGTBを制御している状態です。

カスタムセットアップは、新たにセットアップする必要があります。

GTBアンプは、プロファイル1～4と6は、お好みに合わせた放出特性を選択することができます。

プロファイル5はボート用で、放出特性を選択することができません。

スロットルチャートで放出特性をご確認ください。（英文P5.「6種のスロットルプログラム」をご覧ください。）

全ての設定を工場出荷時に戻したい場合は、初期設定をやり直してください。

ブレーキ調整

GTBは異なった2つのスタンダードコンスタントブレーキまたは、ドラッグ・ブレーキ(ニュートラルブレーキ)方法が選択出来ます。
そして10通りの異なったレベルのブレーキが選択出来ます。

ミニマム・ブレーキ（最小ブレーキ値）

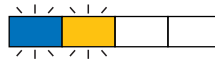
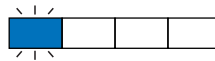
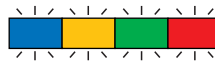
GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- 1.もし送信機をオフにして設定を行う場合は、GTBをレシーバーから取り外してください。
レース会場では、その他の送信機の電波障害を受ける可能性があるため、このシステムが有効です。
- 2.GTBのスイッチをオンにします。
- 3.GTBのボタンを押し続けるとブルーLEDが点灯します。
- 4.ブルーLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。
するとブルーLEDの点滅回数でミニマム・ブレーキの選択場所が確認できます。
- 5.素早く再度ボタンを押すことによりミニマム・ブレーキ作動値（％）を変更することが出来ます。
また、連続して幾度か押すことでミニマム・ブレーキ動値（％）を連続変更することも出来ます。
ブルーの点滅の意味は1回が5%,2回が10%,3回が15%,4回が20%,5回が25%,6回が30%,7回が35%,8回が40%,9回が45%,10回が50%となっています。
何もしない状態ですと現在選択されているモードを数秒ごとにブルーLEDの点滅回数で知らせます。
- 6.再度ボタンを一秒以上押し続けることで選択されたモードを確定します。
このとき、4色のLEDが順につきセット完了を知らせ、その後レッドとグリーンLEDの点灯し送信機の指示が入っていない事を示します。

ドラッグ・ブレーキ（ニュートラル時のブレーキ値）

GTBを充電されたバッテリーに接続します。（送信機はオフ、またはオン）

- 1.もし送信機をオフにして設定を行う場合は、GTBをレシーバーから取り外してください。
レース会場では、その他の送信機の電波障害を受ける可能性があるため、このシステムが有効です。
- 2.GTBのスイッチをオンにします。
- 3.GTBのボタンを押し続けるとブルーLEDが点灯次にブルーとオレンジLEDが共に点灯します。
- 4.ブルーとオレンジLEDの点灯を確認したら、すぐにボタンを離してください。
するとブルーとオレンジLEDの点滅回数でドラッグブレーキの選択場所が確認できます。
- 5.素早く再度ボタンを押すことによりドラッグ・ブレーキ動値（％）を変更することが出来ます。
また、連続して幾度か押すことでドラッグ・ブレーキ動値（％）を連続変更することも出来ます。
ブルーとオレンジLEDの点滅の意味は1回が0%,2回が10%,3回が15%,4回が20%,5回が25%,6回が30%,7回が35%,8回が40%,9回が45%,10回が50%となっています。何もしない状態ですと現在選択されているモードを数秒ごとにブルーとオレンジLEDの点滅回数で知らせます。
- 6.再度ボタンを一秒以上押し続けることで選択されたモードを確定します。
このとき、4色のLEDが順につきセット完了を知らせ、その後レッドとグリーンLEDの点灯し送信機の指示が入っていない事を示します。
3つの4-40ネジをシャフトエンド固定用に使用しています。数回走行するごとに、
このネジがゆるんでいないか確認し増し締めしてください。



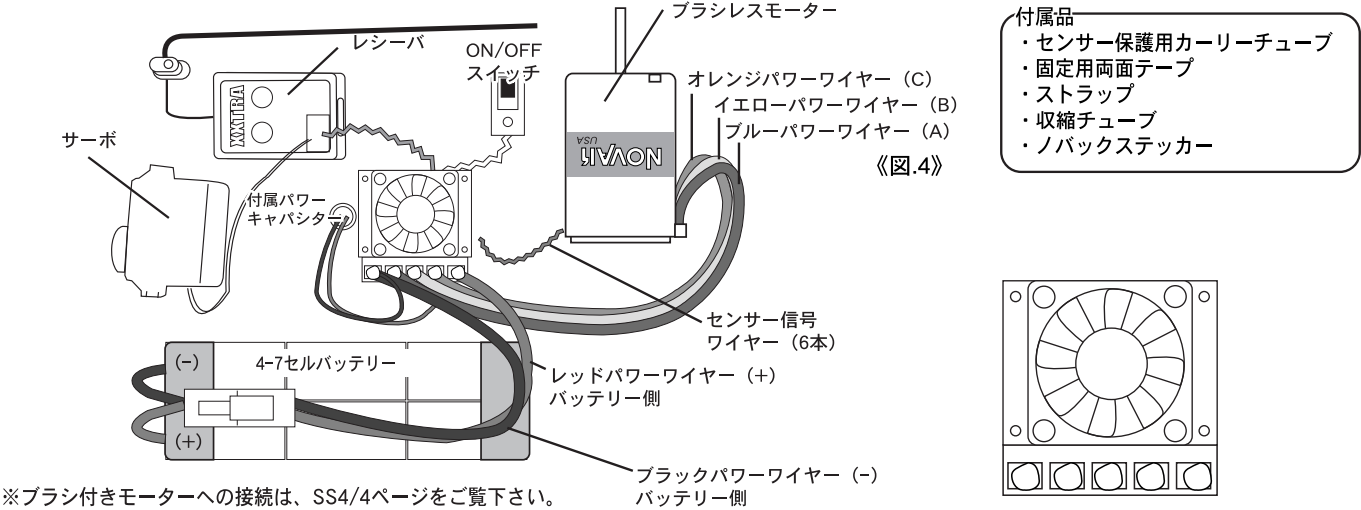
- 1.ブラシレス・モードでは、ショッキダイオードを使用しないでください。アンプが壊れます。
- 2.パワーキャパシターを固定する場合、付属の両面テープとストラップでシャーシに固定してください。
- 3.ギアの選択は英文5 ページをご確認ください。
- 4.配線は、アンプのそれぞれの極性をご確認の上、確実にハンダを行ってください。必要以上の加熱は、タブを傷める恐れがあります。作業は手早く行ってください。
- 5.ブラシレス・モーターの6本のセンサーワイヤーをアンプに接続します。コード保護用のスパイラル・ラップを巻きコードを保護します。
- 6&7.アンプのパワーコードをバッテリーに接続する場合は、極性に注意して行います。(赤コードが+、黒コードが-)

ブラシ付きモーター

- 1.モーターキャパシターは、0.1μ F の物を3つ使用し、英文の図5の様に装着します。
- モータータブ+とモータータブ-
- モータータブ+とカンアース
- モータータブ-とカンアース
- 2.ショッキダイオードは極性があります。白または銀色の入った方を+側に向けてください。
- モータータブ+とモータータブ-にまたがせてハンダ付けします。
- 3.赤コードは、モーター+とバッテリー+へ繋がります。
- 1本のパワーワイヤーを使用する場合は、英文取説STEP.2 写真7をご参照ください。
- 2本のパワーワイヤーを使用しY字に配線する場合は、英文取説STEP.2 写真8をご参照ください。
- 4.アンプの黒コードは、バッテリー-へ繋がります。
- 5.ブルー、イエロー、オレンジコードは、モーターの-側に取り付けてください。

STEP.3

- アンプのパワーワイヤーは、サーボや受信器（アンテナを含む）からなるべく離してください。
- 1.RCカーへの装着は、付属の両面テープを用い正確に装着します。
- 受信器のアンテナはモーターワイヤー、バッテリー、サーボからなるべく離れた位置にマウントし、短く切らずに立ちあげてください。
- 2.パワーキャップも付属の両面テープでRCカーに固定してください。
- ワイヤーなどは、シャーシの各部にストラップを用い正しく固定してください。これにより断線や可動部への干渉を防ぎます。
- 3.リモートプログラミングスイッチを付属の両面テープを用い正確に装着します。
- オンオフの機能の他にモードを切り替えるためのボタンも内蔵されています。



STEP.4 送信機のセットアップ

- A. HIGH ATVまたはEPAは最大にセットしてください。
- B. LOW ATV、EPAまたはATLは最大にセットしてください。
- C. EXPONENTIALは0にセットしてください。
- D. スロットルのリバース・スイッチはどちらの位置でもかまいません。
- E. スロットル・トリムはミドルポジションにセットしてください。
- F. 前進とブレーキで使用する場合の送信機側の電子トリガーの割合は、前進70%ブレーキ30%でセットします。
- しかし、前後進で使用する場合は、50：50でセットします。
- G. 前進とブレーキで使用する場合の送信機のトリガーは前進2/3、ブレーキ1/3でセットします。
- しかし、前後進で使用する場合は、1/2：1/2でセットします。

STEP.5 初期設定

- 1.送信機のスイッチをオンにします。
- 2-3).アンプ側スイッチの横にあるボタンを押し続けたままでアンプのスイッチをオンにします。
- 4-5).レッドLEDの点灯を確認後、素早くボタンを離します。
- 6).送信機のスロットルをハイポイントに移動しグリーンLEDの点灯を確認します。
- 7).送信機のスロットルをブレーキエンド・ポイントに移動しグリーンLEDの点滅を確認します。
- 8).送信機のスロットルをニュートラル・ポイントに移動しレッドLEDの点灯を確認し完了です。
- ※1から8の作業を連続的に行ってください。途中で一定以上の時間が経つと入力エラーとなる場合もあります。

★★アドバンスド・カスタムプログラミング
★ギアの選択

ベロシティ5.5Rと6.5Rモーターに最適なスパーとピニオンをお選びください。
(英文P5のチャート参照)

ベロシティ5.5Rと6.5Rモーターは、ブラシ付きモーター使用時よりも1〜3T小さなピニオンをお奨めします。

しかし、あまり大きくレートの間違えた場合は温度センサーが異常を感知し送電を停止する事もあります。

ベロシティ5.5Rと6.5Rモーターをブラシ付きモーターと比較した場合、ピニオンギアはベロシティ5.5Rで3T、6.5Rで2Tそれぞれ小さくした物が基準となります。

※もしも、それ以上のピニオンを使用する場合はGTBの発熱に気を付けてください。

モーター	ギア比	
ベロシティ5.5R	8.75-9.25：1	ツーリング用
ベロシティ6.5R	7.75-8.5：1	ツーリング用
ベロシティ5.5R	11.5-12.0：1	1/10バギー
ベロシティ6.5R	10.5-10：1	1/10バギー
ベロシティ5.5R	13.0：1	1/10スタジアムトラック
ベロシティ6.5R	12.3：1	1/10スタジアムトラック

受信器用バッテリー

別電源を受信器用バッテリーに使用する場合は5セル（6.0V）の物をお使いください。

その場合、アンプのスイッチはオフにし、レシーババック側のスイッチで制御します。